



令和8年3月28日（土）名古屋マリオットアソシアホテルにおいて 愛看アラムナイ設立10周年 愛知県立看護短期大学 同窓会設立55周年記念パーティーが盛大に開催されました！

理事長挨拶 石光 美美子

周年記念事業の企画を検討し始めた2年前、理事全員が我々の力量でこの度のパーティーを無事に開催できるのか、一抹の不安を抱きながらも「覚悟」を決め、無事の開催を願って当日を迎えました。皆で作った特別な宴として、とりわけ心に刻まれたパーティーの裏側を、理事長挨拶に代えて報告いたします。



会場は開宴前から参加者の熱気に溢れ、ゲストをお迎える学部会員6名の頼もしい姿に勇気づけられ開宴。順調に企画は進み、宴の中でも目玉企画「ロゴマーク」完成披露へ。この時点で会場の熱気はすでに急上昇中、その影響を受け披露に戸惑う担当理事。何度も企画の練習を重ねてきたことを知る理事長、ルール違反にも司会のマイクを握り、日常の教職を活かして「ご静粛に」と発声。企画も無事に完遂し、気づくと歓談時間。着座式パーティーのはずが、会場内いたる処で会話に弾む参加者の姿、姿で会場内を回ることを断念。プログラムは学部会員による若さ溢れるパフォーマンスへ。理事長「準備に行くよ」、学部会員「先生、お肉食べたい」、理事長「（後ろ髪を引かれつつ）後でね」、ゲストファーストの厳しさ(?)の下、いざパフォーマンス。宴での一番の盛り上がり学生最後の思い出となり満足気な学生。無事に閉宴を迎え、最後の企画「記念写真」で珍事件発生。撮影順が最後であった我々実行委員。ここで不吉な予感。「理事は全員いる?」「〇先生がいない」。会場内「〇先生」と叫ぶ声、無事に揃い全企画終了。閉宴後の会場にはまたの再会を祈る参加者の姿がありました。

この度の企画運営を通して、恩師や諸先輩方から頂く言葉、そしてエールに幾度となく励まされ、いつまでも教えを乞うことのできる同窓会のありがたさを実感いたしました。パーティー当日、不在であった勝村友紀理事、同僚で正会員の先生方からも多大なご協力を賜りました。守山キャンパス職員の皆さまからお心添えがありました。同窓会へ寄せてくださる多くの方々のご支援や願いがあり、このような企画を盛会裏に終えることができました。改めて、これまでの愛看アラムナイへのご支援に心から感謝を申し上げます。愛看アラムナイが永えに続いていくことができますよう、変わらぬご支援とご協力を賜りたく、よろしく願い申し上げます。

愛知県立大学 看護学部長

片岡 純先生



愛看アラムナイ設立10周年、そして愛知県立看護短期大学同窓会設立55周年という節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。長きにわたり、同窓会の皆様が県立大学看護学部の発展に寄り添い、ともに歩み続けてくださったことに、深い感謝を申し上げます。

私が看護短期大学へ着任した当時は、第一・第二看護学科にはそれぞれ40名の学生が在籍し、今の駐車場には寮があり、そこから学びに励む姿がありました。その後、1995年に看護大学が開学し、2009年には愛知県立大学と統合して新たな歩みをすすめてまいりました。現在は、保健師と助産師の養成は大学院に移行し、看護師の養成は1学年90名の定員で行っています。高蔵寺駅からキャンパスまでの景色も、時代とともに表情を変えてきましたが、東谷山のふもとで質の高い看護職者を養成するという使命は変わることなく受け継がれています。

18歳人口の減少に伴い、全国の大学がこれからのように学習者主体の教育を行っていくのは共通の課題となっています。県立大学も例外ではなく、一部ですでに報道をされていますが、新しい学群の設立など、組織の改編の検討が急ピッチで進んでいます。

また、看護学部では、初めての試みとして、日本看護学教育評価機構が行う分野別評価の受審に向けた、教育課程の自己点検評価に今年度は取り組みました。自己点検評価で、これまで共有が不十分であった課題も浮かび上がりました。しかしそれは、学びの質をさらに高め、未来の看護を支える人材を育てるための大切な気づきであります。また、点検評価の結果を教授会で共有し、改善策を検討するプロセスの中で、看護教育の質をよくするための方策を気負いなく提言できる環境が若手の先生方を中心に醸成されてきていると実感しています。

今後も、教育のさらなる質向上に努めてまいりたいと考えます。同窓会の皆様には、これからも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

懐かしい恩師や同窓生と再会し、楽しい時間をすごしました



懐かしい恩師や同窓生との再会、そして年代を超えた同窓生の方々との交流の場にもなりました

パーティーの概要

日時：令和8年3月28日（土）
 11時30分～13時30分
 場所：名古屋マリオットアソシアホテル 16階アイリス
 参加者：正会員 146名

短期大学卒業生	37名
看護大学卒業生	42名
看護学部卒業生	9名
大学院修了生	33名
学部生	6名
特別会員	19名



参加者の皆さまから頂いたスピーチのご紹介

鎌倉 やよい先生（録画によるスピーチ）
 （昭和47年短大卒業）
 【短期大学同窓会 第3、第5～8
 代理理事長（昭和50・51年度、昭和58年～平成2年度）】



皆さんこんにちは。愛知県立看護短期大学の第2回生であり、教員会員でもある「鎌倉やよい」でございます。
 現在、一般社団法人日本看護系大学協議会の常任理事として働いています。国内すべての看護系大学が入会している組織です。

愛看アラムナイ設立10周年、同窓会設立55周年の記念パーティーに、是非出席したいと思いましたが、あいにく事業報告会が終日開催され、東京の神田事務所から、報告する必要があり、画面からご挨拶申し上げます。

私は卒業後2年ほど同窓会の役員を務め、昭和60年に母校の助手となりましたが、その時には既に同窓会は壊滅状態でした。同窓生に対する実態調査を実施し、同窓会ニュースを復刻させ、総会を開催し、年会費をいただくことで毎年住所を把握する仕組みを作り、何とか同窓会を立て直すことができました。短期大学は看護大学となり、この間、短期大学の同窓会役員として活動してきました。さらに、母校は愛知県立大学看護学部へと変化し、同窓会が統合され「愛看アラムナイ」として活動されていることを非常にうれしく思います。

守山キャンパスには長い歴史があり、大学の変化の時に同窓会から寄贈した2基の石像がキャンパスを見守ってくれているようです。入り口の坂を上がっていくと「白の肖像」が迎えてくれます。愛知県立芸術大学出身の彫刻家吉見様が、ギリシャから大理石を取り寄せ、看護師をモデルに制作された作品です。もう1基は中庭を眺める位置にある「空」の石像です。看護大学となったお祝いに同じ彫刻家に依頼し、贈呈したものです。限りなく広い空に飛翔する願いが込められています。看護学部が守山キャンパスという広い基地を持っていることは自律性の意味からとても重要です。

この石像に込めた願いのように、守山キャンパスがますますの発展を遂げることを期待するとともに、愛看アラムナイの同窓生の皆様が健康にご活躍くださることを祈念いたします。本日は誠にありがとうございます。

【プログラム】

11:30 開宴
 片岡学部長ご挨拶
 乾杯（百瀬由美子先生（昭和53年卒））
 参加者・恩師の皆さまからのスピーチ
 愛看アラムナイロゴ制作発表
 若さ溢れるスペシャルパフォーマンス
 テーブル感想リレー
 写真撮影



13:30 閉宴



参加者の皆さまからのスピーチ

山口 桂子先生（現在：愛知県立大学 名誉教授）

（先生の御意向でお写真は掲載しておりません）

愛知県立看護短期大学同窓会 55 周年、愛看アラムナイ 10 周年に際し、心よりお祝い申し上げます。

私は 1984 年に同短期大学に教員として着任しましたが、その後の 30 年余、多くの同窓生と共に自然豊かな東谷山の地で学んだ日々を懐かしく振り返っています。着任当時、すでに多くの卒業生が臨床現場で活躍していましたが、母校の学生の実習等をも支えてくれました。同窓生の存在は、頼もしく誇らしい社会の財産と感じています。

時は流れ、価値観の多様化とともに、医療や看護、教育の対象となる人々の個別ニーズへの対応はさらに難しくなってきました。時には疲弊し、道に迷うことがあるかもしれませんが、そんな時こそ同窓会ネットワークを駆使し、お互いの経験と技を糧に、さらなる充実を目指していただきたいと思います。

金尾 洋治先生（現在：東海学園大学 教授）

金尾です。今日の日を楽しみにしていました。

27 歳の時から 27 年間、愛知県立看護短期大学、愛知県立看護大学、愛知県立大学看護学部、体育の教員として赴任していました。とてもお世話になり、懐かしい気持ちでいっぱいです。毎週水曜日は会議の日で、ほとんど飲めなかった私が、最終的に毎日 350ml の缶ビールを 7 本飲むようになりました。肝臓は少し壊れかかりましたが、今のところ大丈夫です。その原因について、今日は思いっきり悪口を言おうと思いましたが、ビデオにとられ、話した内容を要約して文章にしなかなければならないことが判明し、何も話せません。箕浦先生にお会いできなかったのは残念でしたが、米田先生、山口先生にお逢いできて、来てよかったと感じています（片岡先生、服部先生には来年度お会いできるはずです）。今日はみんなと話をしてみたいと思います。還暦を過ぎたら、金はお出しても口を出すなということなので、これで終わります。楽しみましょう。



前原 茂子様（昭和 47 年短大卒業）

父親が選んでくれた看護という仕事は、石川県では充足されており、愛知県まで出て、准看護婦学校、定時制高校、看護短大と 8 年間かけて国家登録を取得し、以後 37 年間奨学金を受けた縁で勤めさせていただきました。定年後は、父親の家庭介護を約 10 年、今は 101 歳の母、弟、甥と共に畑仕事をしながら暮らしています。親戚、身内に姪、いとこ、いとこの子ども、その夫等、助産婦等の看護の仕事に携わる者が 7 名います。うち、1 名が恩師の進めで、母校の修士課程に通い出したと叔母より知らせがありました。

高木 仁美様（昭和 52 年短大卒業）

大学時代は、熱意と情熱のある恩師に恵まれ、看護の原点となる基礎教育を受けました。

高橋章子先生は、実習中の患者さんとのコミュニケーションから言葉の裏に隠された患者の思いを全人的にとらえることを、また、今は亡き馬場昌子先生は「一人の人格をケアするという事は、最も深い意味で、その人が成長する事、自己実現を助けること」と教えてくれました。

お二人の恩師の教えは、私の看護観の基盤となり、時代が変わっても変わらない看護の心として、現在も地域医療を支える看護管理者に伝承しています。

山内 とく子様（昭和 49 年短大卒業）

【短期大学同窓会第 9・10 代理事長(平成 3 年度～平成 6 年度)】

私は平成 3 年～平成 6 年の 4 年間、短大同窓会理事長として関わらせていただきました。

大学移管には、同窓会組織がしっかりしていることが大切だと助言を得て、卒業生の名簿整理や機関誌発行、総会や講演会等を通して短大の PR 行いました。

その後、同窓生の方々のご努力で愛看アラムナイへと発展したことをうれしく思います。最近、患者として医療と関わるなかで多様な職種の方が、かつて看護職が担っていた仕事をされるのを見て、改めて看護の専門性を考えさせられました。

愛看アラムナイが、これからの看護の方向性を担ってくださると期待しています。



参加者の皆さまからのスピーチ

米田 雅彦先生

(現在：愛知県立大学 名誉教授)

2000年に赴任して、22年間の教育で多くの人との出会いがありました。幸いなことに今のところ病院のお世話になっていないので、医療現場で活躍する卒業生と出会う機会はありません。ただ、退職後も他の大学や専門学校で非常勤講師をさせてもらっていますが、そこには必ず本学の修了生や卒業生が教育に携わっていて、本学の看護教育の高さや個々の能力の高さを実感しています。その時に、本学の話になったりするのですが、私の教えた「生化学」が役立ったという話が出てきません。どうか年寄りへの思いやりで、ちょっとだけ役に立っていますと・・・
お願いで話を終わります。



宇城 令先生

【愛看アラムナイ 初代理事長（令和元年～令和2年度）】

本日は、愛看アラムナイ設立10周年記念、誠にありがとうございます。皆さまと再会でき、大変うれしく思っております。

私は設立当初に初代理事長を務めさせていただきましたが、当時は何もなかったところからのスタートで、正直なところ手探りの連続でした。「これでよいのか」と迷うことも多かったのですが、その都度、周囲の皆さまに支えていただき、ここまで歩んでくることができました。

あれから10年、この同窓会がしっかりと形になり、次の世代へとつながっていることを大変うれしく感じております。

これからも、さらに良い形で発展していくことを心より願っております。

簡単ではございますが、お祝いとご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



中山 純果様

(平成10年看護大学卒業・平成12年看護大学大学院修了)

愛知県立看護大学の一期生として、真新しく広々とした校舎で学んだ日々を懐かしく思い出します。

学部生の頃、先生から教わった「疑うこと」「エビデンスを創ること」の大切さは印象深く、その後の修士課程、そして現在の歩みの確かな基盤となっています。年月を重ねる中で、自ら考え、選び、生きる積み重ねこそが幸せにつながると実感しています。

母校のさらなる発展と、後輩の皆さまの幸せな未来の道を心より祈念いたします。



田中 夕美子様

(平成28年大学院博士前期課程修了)

博士前期課程を修了し10年という節目を迎えました。看護管理とともに学び、領域を超えた多くの仲間との出会いは、私の人生の宝物になりました。

仲間とともに行う学会発表や執筆活動、そして愛知県看護協会における委員会活動など、益々活躍の場が広がっています。これからも宝物を大切に、様々なことに挑戦し飛躍したいと思います。



愛看アラムナイのロゴと記念品の発表ならびに参加者の皆さまからのお言葉

記念ロゴと記念品をお披露目しました！



設立 10 周年記念を機にデザイナーの方に作成していただきました。メインモチーフには、守山キャンパスの建物と愛知県の県花であり、愛知県立大学の学章にも用いられている「かきつばた」を取り入れています。また、同窓会名である愛看アラムナイ (ICAN ALUMNI) の英語表記と大学名 APU、学部名 NURSING & HEALTH のテキストを組みこみました。ロゴのカラーは、守山キャンパスの建物の色をシンボルカラーとして採用しています。さらに、短大・県立看護大学・県立大学、研究科の繋がりを「輪」の形でイメージしています。

10周年記念 愛看アラムナイロゴ入りマグカップ



参加者記念品 トートバック



参加された皆さまからのお言葉

① 山田 聡子先生

心温まるパーティーを企画してくださいましたこと、心より御礼申し上げます。愛知県立看護大学 (当時) の看護界への貢献度の高さも実感いたしました。このご縁をずっと大切にしていきたいと改めて思いました。

② 高木 仁美様

お料理も美味しく、なつかしい顔ぶれにも再会できて、楽しい時間を過ごせました。ありがとうございます。

③ 兼松 千重子様

幹事の皆様、本当に今日はありがとうございました。同級生と久しぶりに会うことが出来ました。会全体も楽しめる内容でした。遥か昔、がんセンターで一緒に働いていた学部長 片岡様にもお会いでき、お話をさせていただきました。

④ 牧野 友子様

銀テーブルで自己紹介をしたところ、私たち 57 年度入学生が最も入学が早いことがわかりました。一瞬ショック！でしたが、周囲の皆様のご活躍を伺ってうれしい気持ちになりました。

57 年度入学生として自慢できることが 1 つあります！同級会を 1 年も休まず、コロナ前まで開催してきました。水谷先生、加納先生、加藤先生、森先生、馬場先生を始め、たくさんの先生方にもご出席いただきました。そこでのプライベートな打ち明け話も本当に楽しく良い思い出になっています。

⑤ 間瀬 金子様

こんなに大きな同窓会に参加させていただき感謝です。お世話も大変だったと思いました。若い学生さん達の姿に元気を頂きました。

⑥ M 様

最初知り合いもなく心配でしたが、さすが同じ学校の卒業生で、楽しくおしゃべりもでき過ごせました。学生さんの出し物、記念品、料理ととてもいい時間でした。幹事の方々ありがとうございました。

⑦ M.M 様

色々な企画があって、素敵な記念パーティーでした。多くの恩師や友人に会えて楽しい時間でした。理事の皆様、そして参加された先生と同窓生に感謝します！本当にありがとうございました。

⑧ 石川 祥子様

鎌倉先生のビデオレターや、現在のキャンパスの様子、そして看護学生姿でラプマシーンを踊ってくださったり、色々な余興があってあっという間でした！お食事も美味しく、ゴージャスな会場で、ほんとにこの会費でよろしかったのでしょうかと思いました。また、アラムナイロゴ入りの記念品もいただき、大切に使用させていただこうと思っております。同期の友人には残念ながら会えませんでした。同じテーブルで先輩方と談笑し、楽しいひとときを過ごせました。兒玉さんはじめ、役員の皆様方に、深く感謝を申し上げます。ありがとうございました！

⑨ 佐々木 菜名代様

懐かしい先生方、同窓生にお目にかかることができ、また様々なお話を聞くことができ、とても楽しかったです。ぜひ、また、このような機会を持ていただければ嬉しいです。

⑩ 宮原 晴子様

初めてお会いする方々とも同じテーブルでしたが、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

これも、愛看アラムナイの醍醐味だと思います。暖かい雰囲気の中で過ごした時間がとても心地よかったです。準備いただいた役員の皆様、本当にありがとうございました。

参加された皆さまからのお言葉

⑪ 野中 光代様

本日はこのような盛大なパーティーを開催していただき、ありがとうございました。短大最後の年から看護大学開学の4年の計5年働かせていただきました。開学の年に出産し、その子が20歳の時、大学院生として県大に戻り、5年間学ばせて頂きました。今子どもは30歳です。長い年月が過ぎ、開学当時の同僚の先生方も学生さんも、看護の世界で大活躍されており、自分も頑張ろうと思います。これからも県大看護が益々発展されることをお祈りしています。

⑫ C.M様

鎌倉先生には、在学中、実習などでもお世話になったので、映像ではありましたが、元気そうなお顔を拝見でき、とても感動しました。

⑬ Y.O様

短大最後から二番目の年の卒業です。早いもので卒業して丁度30年になります。申し込みしたのはいいけれど、どなたか知ってる方がくのか不安でした。しかし寮の先輩後輩や同級生もいて、楽しく過ごさせて頂きました。懐かしい先生方にもお会いでき、卒研でお世話になった山口先生、服部先生も覚えていて下さり嬉しかったです。愛看アラムナイの益々のご発展と、先生方、同窓生の皆様のご多幸を祈念いたしております。ありがとうございました。

⑭ S.H様

愛看アラムナイ周年記念パーティーに出席させていただき、誠にありがとうございました。ご準備に携わってくださった皆様のおかげで、大変よい時間を過ごすことができました。寮で寝食を共にした仲間や、名古屋第一赤十字病院外科病棟で初めてプリセプターを務めた際の後輩と30年ぶりに再会でき、懐かしく大変嬉しい時間でした。また、ゼミでお世話になった山口桂子先生から温かい笑顔とお声がけを頂きました。先生は不思議とその時々に必要な言葉をかけてくださる方で、30年前と変わらないお姿に胸が温かくなりました。私は現在、看護系大学で教員をしております。学生時代、先生方が「短大の学生は即戦力にはならないかもしれないが、将来きっと役に立つ人たちです」と病院の方々を下げてくださいましたお姿は、今も心に深く残っています。そのことを思い出しながら、学生一人ひとりの力を信じ寄り添う教員でありたい思いを、あらためて強くいたしました。

本日は、同窓生の先輩が繋いでくださった新たな出会いもありました。今後も、同窓生同士が助け合える繋がりを大切にしながら、お互いの力となれるよい未来を築いていければと思います。

⑮ 永谷 幸子様

パーティーでは懐かしい顔に会い、お互いの近況報告を交わしながら、学生時代の思い出話に花が咲きました。東谷山と一緒に学んだ仲間が各所で活躍している姿を知ることができ、大変心強かったです。改めて卒業生のつながりの大切さを実感いたしました。周年記念パーティーを企画していただいた実行委員の皆様、また、これまで愛看アラムナイを支えてくださった全ての皆様に心より感謝申し上げます。素敵な記念品はもとより、在校生が使用するネックストラップの作成は、大変心のこもった企画だと感じました。私は、現在、愛知を離れておりますので、母校の後輩に接する機会はほぼございませんが、少し離れたところから皆

様を応援しております。

⑯ A.O様

1999年卒の看護大1期生です。25年以上大学から離れていたため、知っている人がいるか不安に思っていたのですが、会場に入った瞬間から懐かしい顔を見つけて、おしゃべりが止まらない楽しい時間となりました。また、楽しい企画も盛りだくさんで喋って食べて楽しんであっという間でした。周年記念パーティー実行委員の皆様、お忙しい中でのご準備が大変苦労されたかと思ひます。ご尽力に感謝いたします。ありがとうございました。

⑰ A様(仮名)

周年記念パーティーの開催おめでとうございます。また、企画、運営をいただいた先生方、素敵なパーティーにさせていただきありがとうございました。今回参加して県大で頂いたつながりを取り戻し、学部生からパワーをいただけたことで、明日から新たな気持ちで看護に携わろうと前向きになれました。諸先生方のスピーチで語られた通り、県大で賜りました教育は的確なものであり、今の自身の知識と技術の礎であることを改めて実感しました。多くの先輩方とお会いする中で、初めて先輩だったと知る機会にもなり、県大の卒業生の偉大さを感じ参加させていただけたことに心から感謝いたします。今後も、このつながりを大切に、広がりさらに深くなることを期待しております。

⑱ B様(仮名)

たくさんの先生方や同窓生にお会いできて嬉しかったです。準備して下さった皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑲ 横田 恵一様

今日はありがとうございました。懐かしさと伝統を感じました。とても楽しい時間をありがとうございました。また、運営・準備には大変ご苦労があったかと思ひます。素晴らしい会でした。ありがとうございました。

⑳ 清水 いつみ様

恩師に会えて嬉しかったです。学生に戻れた貴重なひとときでした。

㉑ 森 真友子様

久しぶりに友人と会える機会をいただけて嬉しかったです。

㉒ 池田 澄(旧姓:大瀧)様

「今回は参加できて本当によかったな!!」参加した帰り道の電車の中で、そう思いました。申し込んだ時は、『誰も知らない人ばかりだったらどうしよう...』などと思うこともありましたが、同級生や同席となった方も沢山お話しすることが出来ました。同じ看護の世界とは言え、臨床をはじめとして、行政、産業...様々なフィールドで助産師、保健師、看護師として毎日頑張っている人たちが一堂に会する場に自分も参加させていただけたことが、大変嬉しく思いました。恩師の先生方ともお会い出来て、一気に学生時代が蘇りました。在学中から(…と言っても、20年くらい前の話になりますが、この大学で学んでいる学生や教員の方々、皆が優しくて心が温かいことが、私は一番の自慢や誇りでした。今回のパーティーは、それを再認識出来る場でした。おかげで明日からも仕事が

頑張れそうです。記念品が、とても素敵でびっくりしました。大切に使用させていただきます。今回は、素敵な会を企画・運営頂けたことに大変感謝いたします。ありがとうございました。

㉓ 黒木 有一郎様

豪華な食事を頂けてとても楽しい会でした。

㉔ 日高 愛菜様

先輩方とお話できる貴重な機会になりました。ダンスの時も手拍子で盛り上げてくださって嬉しかったです。素敵な会を開催していただきありがとうございました。

㉕ 日比野 未希様

料理美味しかったです。ダンスの時、皆さんが手拍子してくださって嬉しかったです。バッグとマグカップ嬉しかったです。

㉖ 岩井 育々様

ダンスの時、皆さんが盛り上げてくださって楽しかったです。様々な場所で活躍されている同窓生がいらっやっすぞいと思ひました。

㉗ 赤崎 美佳様

お世話になった先生方や懐かしい修生生にも会えてお料理も美味しく楽しい時間でした。

㉘ M.O様

久々に会った同級生と楽しい時間を過ごさせていただきました。このようなパーティーの企画、運営、本当に大変だったと思ひます。ありがとうございました。

㉙ M様

とても楽しく過ごしました。関係者の皆さまは準備等大変だったと思ひますが、ありがとうございました。

㊀ Y.K様

久しぶりに恩師の先生方にお会いできて楽しい時間でした。

㊁ H.N様

恩師や懐かしい友人達に会えて嬉しかったです！今は育児に専念しておりますが、再就職する際にはまた先生方や友人に相談したり、色々参考にしたいと感じる話もありました。このような機会を作ってください、ありがとうございました。

㊂ A.S様

久しぶりに諸先生方たちや顔の判別できる、同窓生たちやら、後輩様たちにお会いできて、本当に懐かしく思ひました。また、現役の同窓生様たちが元気に踊っているのを拝見して、「あ、あのナース服は寒かったな」なんて、いうことを思い出しました。

㊃ C様(仮名)

楽しい会をご準備して頂きありがとうございました^_^

㊄ D様(仮名)

先輩方、先生たちが楽しそうにされているのを見て嬉しい気持ちになりました。私もこのような仲間を持ちたいと思ひました。ダンスを盛り上げていただきありがとうございました。

㊅ E様(仮名)

とても素晴らしいパーティでした。開催にご尽力

参加された皆さまからのお言葉

ございました関係者の皆様へ感謝申し上げます。同窓生の皆様が看護の実践現場でご活躍されていることも素晴らしいことですし、多くの同窓生、顧問の先生方が参加して、このような同窓会で現況の情報共有ができる機会が今後もあるといいと思えました。

㊦ F 様 (仮名)

パーティーの準備、ありがとうございます。大変楽しく、美味しい会でした。年度末のお仕事しながら、本当にありがとうございます。来年度の講演会を楽しみにしています。

㊦ G 様 (仮名)

懐かしい方々と一緒に時を過ごせる機会をつくっていただきましたこと心より感謝申し上げます。

㊦ H 様 (仮名)

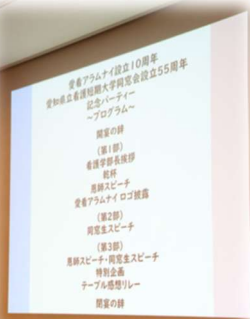
この会の HP へのアクセスが少しわかりにくかったです。職場の後輩にも宣伝しましたが、アクセスできなかった例もあったようです。SNS・YouTube のサイトを作るなどされることを希望します。

㊦ I 様 (仮名)

お久しぶりに皆様に会えてよかったです！恩師の先生方も元気で良かったです。

㊦ 柴 邦代様

幹事の皆様、ありがとうございました。愛看アラムナイ開設当初のこと、理事長として皆さんと苦勞を共にしたことなどを思い出していました。久しぶりに懐かしいお顔を拝見し、お話しできて楽しいひと時でした。これからも愛看アラムナイよろしく願います。



パーティーを終えて理事からのメッセージ (括弧内は担当部門)

副理事長 河邊 紅美

(会場調整、プログラム)

3月の記念パーティーではプログラム実行委員として、開催1年前より当日のプログラム内容の検討を続けてきました。同窓会55周年という記念すべき節目の年に開催する記念パーティーが、参加の皆様にとって思い出深い、楽しい会になるように精一杯考えてきましたが、2時間という限られた時間での限界も感じていました。当日、無事終わることができるか不安いっぱいでしたが、終わった後の参加者の皆様の素敵な笑顔や楽しかったとの感想もたくさんいただき、本当に無事終わったことに安堵と感謝の気持ちでいっぱいです。こうした同窓会の繋がりが今後も続くように、アラムナイ理事として会員の皆様との橋渡しができればと思います。



理事 汲田 明美

(会場調整、プログラム)

実行委員として準備から携わることができました。意見を交換しながら、実行委員全員ができることを重ねて、当日を迎えました。当日の協力者の方々と協働して進めることもでき、あつという間の会でした。皆さんの力に感動しました。料理も美味でした。後日別の集まりで、来場者の方とお会いたしがあり、その方より、記念パーティーを準備してくれてありがとう、とても楽しかったし、みんなと話もできたし、様々な企画も大変だったと思うけれどとてもよかったわ、と言われました。愛看アラムナイの会員の方々が喜んでくれる会にできて本当によかったと思いました。皆様ありがとうございました。



理事 吉田 彩

(会場調整、プログラム)

周年パーティーにご参加いただきありがとうございました。1年以上前から準備し、パーティー直前は皆様を滞りなくお迎えできるか緊張が高まりましたが、温かいご協力のおかげで感想リレーも無事成功？させることができました。お世話になった先生方や懐かしい同窓生、元学生さん、元同僚の方の温かさやパワーを再び実感できる機会となりました。これからも愛看アラムナイを通して皆様とのご縁を大切にしていきたいと思えます。



副理事長 渡邊 直美 (広報)

パーティーにご参加くださいました皆さま、本当にありがとうございました。パーティー終了後に、「全員が温かい気分になったパーティーだった」というお言葉を頂き、大変嬉しく思いました。また、私自身も約30年ぶりに同級生と再会しました。パーティーを開催しなければ、再会はなかったかもしれません。今期で理事を退任しますが、引き続き愛看アラムナイのご支援をよろしく願います。



理事 兒玉 善明 (広報)

この一年間、周年記念事業の広報を担当させて頂きました。SNS、HPへの動画や画像の掲載、特設サイトの制作…より多くの同窓生の皆さんにお伝えできるようにと思い取り組みました。振り返ってみると同窓生である理事で頑張れたのがとても楽しかったです。そして、色々なことに取り組み頑張れたのも、自分を育ててもらえたこの大学が好きだからだと思っています。パーティー当日の皆様の笑顔と「楽しかった」という感想が頂けて、本当に嬉しかったです。ご参加頂きありがとうございました。



理事 籠 玲子 (記念品、会計)

周年パーティーに向けて、様々な準備を重ねてきました。私は、会計と記念品の担当として活動しました。ロゴの依頼と決定までの調整を行い、参加者の方が喜んでいただける記念品は何か、理事の間で議論を重ね、今回、マグカップとトートバッグをみなさまにお届けすることができました。パーティーでは参加者のみなさまの笑顔を拝見できてうれしく、ほっといたしました。ご参加いただきましたみなさま、ありがとうございました。



理事 長谷部 七重

(記念品、会計)

ロゴや記念品の作成など、慌ただしい日々が続きましたが、パーティーで皆さまの笑顔を拝見し、「素敵な会をありがとう！」と多くの方からお声をかけていただき、理事として関わらせていただけて本当に良かったと感じました。周年事業の準備を通して、理事の先生方との距離が少し近づいたように思えたこともとても嬉しいことでした。ご参加くださった皆さま、見守ってくださった皆さまに心より感謝申し上げます。



令和八年度
愛看アラムナイ
看護学部祭 共催

教育講演



プロフィール
臨濟宗妙心寺派 泰岳寺 住職
慶應義塾大学理工学部卒
花園大学国際禅学科卒
臨濟宗妙心寺派 布教師

『当たり前前の有難さに気づく ～マインドフルネスと禅～』 講師：泰丘良玄(やすおか りょうげん) 氏

理工学的思考と禅の実践を融合させ、「心を調える習慣」「不安との向き合い方」「日常に生きる禅の智慧」をテーマに、企業・教育機関・自治体などで多数講演。『人生はブレていい。』『しんどさの癒やし方』などの著書や各種メディアを通して、現代社会に即した仏教のメッセージを発信されています。教育講演では、日々の生活を心穏やかに生きるためのマインドフルネスや禅の実践についてお話しいたします。

日時：6月13日（土）11：00～12：00
場所：愛知県立大学守山キャンパス 講義棟6階 大講義室
教育講演への事前申し込みは不要です。どうぞご参加ください。お子様連れの方は別室（実習室7）からご参加いただけます。当日は「愛看アラムナイ通常総会」「愛知県立大学看護学部祭」が同日開催となっています。合わせてお楽しみください。

お問い合わせ：愛看アラムナイ事務局 Mail：office@ican.nagoya

★通常総会・教育講演の案内は、
SNSでも随時お知らせします★
是非、登録をお願いします！！



ICAN_ALUMNI_KOUHOU



【連絡先変更登録のお願い】
会員情報の更新・新規登録は愛看アラムナイHPにある「会員情報変更・登録届」のフォームからお願いします。
愛看アラムナイ事務局からのメールが迷惑メールや拒否にならないよう、あらかじめ@ican.nagoyaのドメインを受信できるよう設定いただきたく、ご協力をお願いいたします。

✿ 編集後記 ✿

- ・特別号を作成しながら、大きな任務を終えた実感が湧いてきました。ここで理事としては一区切りつけたいと思います。長い間ありがとうございました。（渡邊）
- ・特別号に記載させて頂いた参加された皆さまから頂いた言葉を見ながら、今後もアラムナイの活動を、そしてニューズレターを長く続くように頑張っていこうと思いました。これからもよろしくお祈りいたします。（兒玉）